



学校教育目標 「自ら考え行動し、仲間とともに豊かな社会をつくる」  
～つながる力・まなぶ力・つくる力～

No.3

# 庄内西小学校だより

令和6年(2024年)4月19日発行 校長 黒木 優一



カラー版は『<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/shonai-n/>』をご覧ください

## 3つのミッション

今年度は学校運営において、次の3つのミッションを掲げます。学校運営方針の詳細については、裏面をご覧ください。

- 令和8年(2026年)4月の義務教育学校『庄内よつば学園』開校に向けて、3小学校1中学校(庄西小・庄南小・千成小・第七中)と連携しながら取り組みを進めます

学校教育目標を3小学校1中学校で統一し、「めざす学校像」や「めざすこども像」を共有します。今年度より、開校に向けて月に1回水曜日の午後に合同会議を行い、総務・教務・生活指導などの部会や教科教育・人権教育などの研究推進委員会に分かれて新しい学校に向けて話し合います。教職員研修についても校内研修とは別に合同研修を定期的に行い、連携を強化していきます。子どもたちも3小合同で学習を行う機会を増やします。(5年生の林間学舎は今年から、6年生の修学旅行は来年度から3小合同実施となります。)

- 庄内西小学校閉校に向けての取り組みを進めます

2年後の令和8年(2026年)3月末をもって、庄内西小学校は創立以来70年の歴史に幕を下ろします。そこで、子どもたちや保護者の方、地域の方にとって思い出深い閉校にしたいと考えています。2年間をかけて子どもたちが主体となった閉校行事や地域の方も参加できるイベントなどを考えていきます。そのためにも、普段の学校生活において、子どもたちが主体となった活動を特別活動(学級活動、委員会活動、クラブ活動、学校行事)において、積極的に実施していきます。また、PTAをはじめ地域の方ともこれまで以上に連携しながら取り組みを進めていきます。

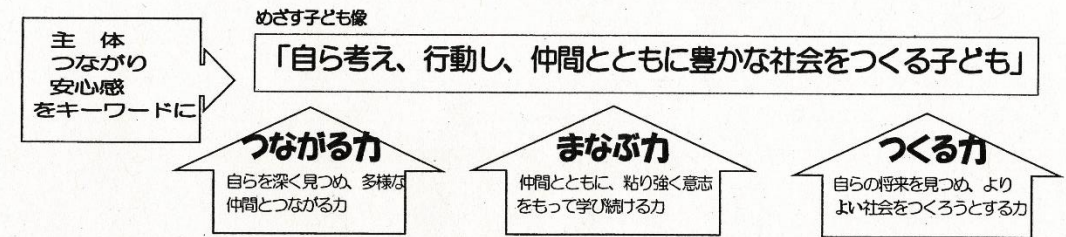
- 令和6年度【スクール・エンパワーメント(SE)推進事業の指定校】となり、豊中市の小中学校に向けて『学力向上』と『小中連携』の取り組みを普及・発信していきます

今年度、大阪府より令和6年度【スクール・エンパワーメント(SE)推進事業の指定校】となりました。加配教員として教員を1名増やしてもらい、その加配教員が中心となって校内において取り組みを進めていきます。本校は『学力向上』と『小中連携』の取り組みを豊中市の全小中学校に向けて普及・発信していきます。11月22日(金)には、豊中市だけでなく大阪府の教職員に向けて学校公開を行います。昨年度まで力を入れてきた情報活用能力の育成だけでなく、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、すべての子どもたちの学力を向上させます。

## 「庄内よつば学園」の学校教育目標

めざす学校像

「つながりを大切に、自ら学び未来をつくる」学校



めざす子ども像実現に向けて、4-3-2のステージ制をひき、子どもたちに「3つの力」を段階的に育んでいきます。

	「つながりを大切にする」学校	「自ら学ぶ」学校	「未来をつくる」学校
第3ステージ(8, 9年)	子ども主体の自治活動をすすめ、相手の立場に立って考える共感力を高める 自分の意見を他者に伝え、他者の意見を取り入れてまとめる対話力を高める	子どもたちどうして考え、授業や活動をすすめる 目標に対するアプローチを明確に、すぐに正解を求めず探求的に思考をすすめる	自らの将来をみつめ、よりよい未来をつくらうとできる(自分で未来を切り開く) 多様性を受け入れ、自分と向き合う
第2ステージ(5~7年)	ちがいを認める教育活動(つながる多様な仲間)をすすめる 人との出会いにあふれる学校(異学年交流、地域交流)	小さな成功体験の階段をのぼる(小さな失敗を重ねながら自信をつける) 主体的に学習できる力(計画、目標、ふり返り)	行事は、自分たちで考え創りあげる どんな大人になりたいかイメージを持つ(本物との出会い、身近に働く人から話を聞く)
第1ステージ(1~4年)	自分の良さを見つけ、認める=自分が自分であって大丈夫(自己肯定感) 安心して過ごせる人間関係づくり	学びの根っこ(基本的な生活習慣、話す・聞く力)を育てる 異学年交流の学び合いを通して、分かる喜びをもつ	自分の好きなこと、得意なことを見つける みんなで一つのものを作り上げる

- 1年から9年の子どもたちの育ちと学びをつなぐ、

1年から9年までの子どもたちが、「主体・つながり・安心感」をキーワードに学校生活を送ることとともに成長していく姿を見守り、子どもたち一人ひとりの課題を見すえ、9年間の育ちや学びをていねいにについていく指導を行う。

- 3つの力(つながる力・まなぶ力・つくる力)を4-3-2の3ステージで段階的に育む

子どもたちにつけたい3つの力を育てるために、子どもの発達段階にあわせて、学年段階を4-3-2の3段階に区切り、各ステージごとに具体的な目標などを設定し、ステージにおける子どもの実態を反映した形での取り組みを行うなどきめ細やかな指導を行う。

- 対話力・共感力・表現力を高める「よつば独自カリキュラム」に取り組む

多様な考え方、価値観をもつ人との出会いや活動を通して、子どもたち一人ひとりの対話力・共感力(エンパシー)を高めるとともに、自己肯定感・自己有用感を育てていく。そのために地域・関係機関と連携した独自なカリキュラムを設定し、子どもたち自身が未来を切り拓いていける力を育む。

- 「よつばコミュニティスクール」で地域とともにある学校づくりをすすめる

子どもたちの育ちや学びをサポートしていくために、「子どもたちの応援団」として地域・保護者の方々に学校の取り組みに参画していただくコミュニティスクールを組織し、地域とともにある学校づくりをすすめる。

